

# 防除情報(病害虫情報 号外 第4号)

令和3年5月21日

神奈川県農業技術センター

## ナシヒメシンクイの発生予想

### 次世代成虫の発生ピークを把握し、適期防除を心掛けましょう！

● フェロモントラップ調査におけるナシヒメシンクイ越冬世代成虫の発生ピークは、伊勢原市三ノ宮、大井町西大井、川崎市麻生区<sup>\*1</sup>の3カ所でいずれも3月6半旬となっており、平年よりも早～やや早くなっています。

(<sup>\*1</sup>川崎市農業技術支援センター調査)

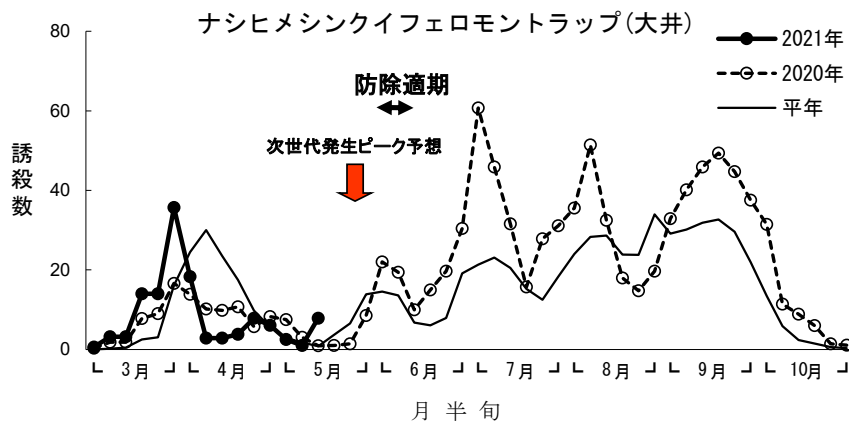
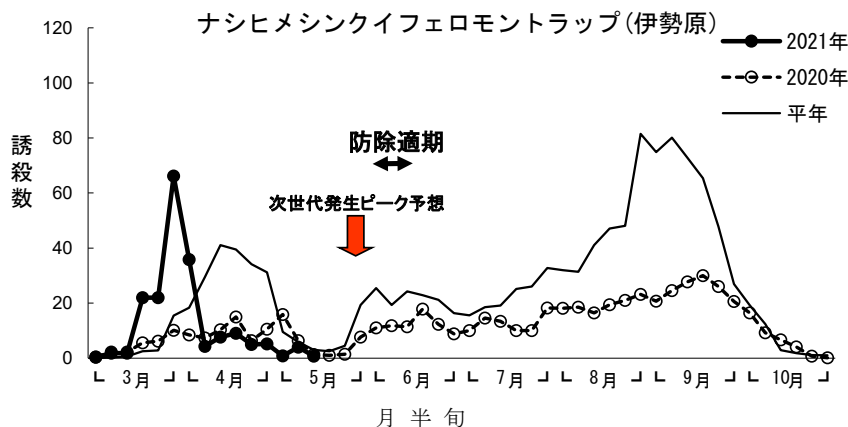
● また、越冬世代の誘殺数は伊勢原市でやや多く、大井町では平年並となっています。

● 越冬世代の発生ピークを起点として、発育零点と有効積算温度<sup>\*2</sup>から次世代(第1世代)成虫の発生ピークを予想すると、伊勢原市(アメダスデータ海老名から算出)、大井町(同小田原から算出)、川崎市(同府中から算出)ではいずれも5月6半旬頃となり、平年よりも1週間程度早くなると予測されます。

<sup>\*2</sup>: 発育零点(11.1℃)、有効積算温度(383.7日度)、発育上限温度(28.0℃)、発育停止温度(30.0℃)

● 薬剤散布適期までの日数は、第1世代成虫では**発生ピークの7～9日後**という報告がありますので、**防除適期は6月1半旬頃**と予想されます。

● なお、成虫の発生ピークは今後の気象状況により変化しますので、ホームページに掲載しているフェロモントラップ調査結果を防除の参考にしてください。



病害虫防除部 TEL0463-58-0333  
 ホームページ  
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>  
 ○農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。